

沼間小学校区地域連合会だより (住民自治協議会)



2022年3月6日 東逗子駅前花壇の手入れ



会長
曾志 光子

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染状況が続き、マスクの外せない日々ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度も当会では、その時その時の状況に応じて代表者会議を開催したり、中止したりしてきました。コロナの感染状況はすぐには好転しないかと思いますが、次年度には、お顔が見えて、ご意見を直接お聞きし情報を共有し合える、代表者会議をできるだけ開催することができたらと思います。

当会事業の取り組みでは、いろいろと困難もありましたが、「崖崩れ対策」「駅前ロータリー美化」「公共交通の実証実験」「駅前改良対策」などを行ってきました。

今回発行する連合会だより22号では、この一年間取り組んできた主な事業の概要や、会員の皆様の活動紹介を掲載いたしましたので、ご覧になっていただきたいと思います。

当会では引き続き地域の課題に取り組んでまいります。皆様方のご参加をお待ちしています。

事業の紹介

崖崩れ注意箇所の調査 【防災安全部会】

当会防災安全部会では、会員の皆様から申請のあった58件の崖崩れ注意箇所の調査を2021年10月に完了しました。

一方、申請になかった場所でも2021年8月崖崩れが発生しました。

そこで、今後とも崖崩れ注意箇所については皆様からの申請を継続して受け付けて、防災に取り組んでいきたいと思っております。



駅前広場に土砂災害警戒区域掲示板の設置



当会では、神奈川県横須賀土木事務所が「土砂災害警戒区域」等の周知のため、市内に標識を設置するにあたり、図柄や設置場所の選定に協力をしました。標識には二つのタイプがあり、写真のタイプ1の標識は東逗子駅前広場の一角に設置され、タイプ2の標識は桜山5丁目ほか計4か所に設置されました。

標識から崖崩れや土石流などの危険区域を確認することができます。

日頃から、この標識や「逗子市土砂災害ハザードマップ」で危険か所を知り、大雨のときに備えておいてください。

土砂災害から「いのち」を守るためには、

- 1) 自宅や勤務先が危険個所内にあるかの確認
 - 2) 雨が降り始めたら気象予報の確認
 - 3) 大雨になる前に早めの避難
- の3つの心得が大切です。



地域の公共交通の充実 【まちづくり部会】

当地区は高台が多く、外出困難な交通弱者の日常の交通手段確保が課題となっています。その対策の一つとして、逗子市と協力しデマンド型乗合タクシーの導入を図るべく、アーデンヒルをモデルとした実証運行試験に取り組んできました。

今年度前半はその準備作業に注力し、10月15日から3月31日の期間で実証運行試験を実施してきました。その結果、沢山の貴重な知見を得ることができました。それらをもとに、逗子市は市内に展開できる雛型の確立を目指しており、アーデンヒルなどでの本格運行に向け対応を進めています。

当会では、これらの実績をもとに、逗子市と協力し今後当地区内での展開を検討していく予定です。



東逗子駅前の整備 【まちづくり部会】

歩行者の安全な通行のため、注意喚起用のペイントが実施されました。

当会会員からの提案により市に相談したものです。



2022年3月 ヨークマート側より東逗子駅に向かう道

渋滞緩和に向けた取組

地元県道沿いの商店街において取付けていたバナーフラッグは、老朽化が進んだことにより取り外しました。

東逗子周辺の交通渋滞緩和には右折車に道を譲る今回の取り組みは有効であったと考えます。県道は道幅が狭く、右折車専用レーンが作れません。今後も渋滞緩和のための対策を考えていきたいと思えます。



防災対策 【沼間小学校地区避難所運営委員会】

誰もが安心して避難できる避難所を目指して



沼間小学校地区避難所運営委員会は、大災害時に行政が避難所を開設することができない時に、住民主体で避難所を早期に作ることを目的に活動をしています。

今年度はマニュアル改訂を進めました。感染症対策を講じた避難所の準備とレイアウト変更、サポートが必要な方のための配慮、多言語対応など今までになかった新たな対応を多く盛り込みました。

12月には避難所設置運営訓練を実施しました。運営メンバーが、災害発生時から24時間以内に作る初期段階の避難所を開設し、実際の災害想定のもと、障がいのある方2名にもご参加いただき、改訂したマニュアルに沿って検証を行いました。

今年度は大きな災害が起きておらず、私達が出動することがなく安堵していますが、大災害はいつ起きるかわかりません。いざという時に備えて、引き続き、しっかりとした準備を重ねていきます。

委員会では私達と一緒にお手伝いしてくださるボランティアも募集しています。ホームページもありますので、ぜひご覧ください。



ホームページへのリンク
沼間小学校地区避難所運営委員会

会員紹介

沼間小学校区地域連合会参加自治会・町内会等をご紹介します。今号では5団体をご紹介します。

沼間三丁目自治会

沼間三丁目自治会は1980年に創設され、火の見下地区、宮の下地区、坂の下地区の東西に細長い3地区からなっています。現在の自治会加入世帯は276世帯です。

役員世代交代が進まないため、2年前に持続可能な自治会を目指して自治会の改革をしました。その柱として、役員以外の会員が自由に活動に参画出来るスタッフ制の導入、地域の皆さんが顔見知りになるためのイベントを数多く実施する事、自治会を地域の皆さんによく知ってもらう事、にしました。

その結果、来期には若い世代の役員が誕生する運びになっています。



桜山番合谷戸自治会

桜山番合谷戸自治会はまだまだ若い自治会です。

あいさつ運動を始めとしてご近所どうしが知り合いになり、防災・防犯に繋がればと思っています。

そのために地域の方が集まれるような催しを行っています。コロナ感染状況でできなかった催し、イベントもありましたが文化祭、バーベキュー大会、七夕祭り、餅つき大会などを行っています。

また、防災訓練やラジオ体操、年末年始の巡回などを行い地域の方が繋がっていけるよう心がけています。



興人東逗子自治会

興人東逗子自治会は、逗子市と横須賀市の境界近くに位置していて、東町内会に隣接しています。戸数は60世帯と、こじんまりした自治会です。

毎月一回の清掃活動は、コロナ禍にあっても実施しています。

今年度の避難訓練は、コロナ拡大のため会員が集まることは止めましたが、安否確認訓練として、各戸に提示された黄色いハンカチを各役員が確認しました。その後、役員で防災機器の点検をしました。

今年度も、コロナ拡大のためにほとんどの活動は中止となりました。



沼間一丁目自治会

当会の会員は沼間一丁目にお住いの方々です(南台の県営住宅には独自の自治会があります)。大きな施設としてはJR東逗子駅と沼間小学校とがあります。会員世帯数は550軒から560軒ですが、集合住宅が多くあり、未加入の方がいらっしゃることを考慮すると、沼間小学校区地域連合会では最も多くの人口を抱えている地域と考えられます。

災害時には沼間小学校に避難所が開設されることや、坂が多いことから、防災に対する意識には高いものがあります。一昨年の台風のときには会長・副会長が小学校に駆け付けました、また、地域にはスタンドパイプを10数台設置しています。



スタンドパイプとホース



消火栓に差し込む



スタンドパイプとホースをつなぐ



放水開始

新型コロナウイルスのために、このところ防災訓練を実施することができていませんが、早く再開

したいと考えています。日頃の活動としては、民生委員と協力した独居家庭の見守りをしたり、当会会長が沼間地域東西2か所にある防犯連絡所の西側の会長を務めたりしています。同じく東西で2名が指名されている廃棄物減量等推進員を、当会役員が西側で引き受け、32か所のごみ収集所での指導をしています。



逗子アーデンヒル自治会

横浜横須賀道路、逗子インターチェンジすぐの山の上に位置する住宅地逗子アーデンヒルは1987年に造成が始まり、500数十区画が売り出されました。

自治会結成は1989年。現在、会員数は545軒ですが、この中には約50軒のベス契約が含まれます。恒例の行事としては、夏まつり、秋のアートフェスティバル(美術展)、一斉清掃「美化清掃の日」、防災訓練があります。夏まつりは新型コロナウイルスのためにこの2年開催できませんでしたが、当会最大の行事です。

子どもたちには金魚すくいのようなゲームで楽しんでもらい、模擬店では焼き鳥やコロッケといった食材、ビールやノンアル飲料を安価で提供しています。メインイベントはビンゴゲームで、その景品は会員の皆さまから沢山のご提供を得ています。

アメリカ人家族の皆さんもお子さんを連れて参加され、国際色豊かな行事となっています。環境維持のための年2回の一斉清掃では、落ち葉などの清掃に毎回200数十人が参加し、40ℓゴミ袋約500袋の成果を上げています。

防災訓練ではスタンドパイプを使った消火訓練などを実施しています。



地域のお知らせ

沼間地区での害獣駆除【逗子市の取り組み】

現在、逗子市では沼間の山々に害獣対策として主にイノシシやシカなどの捕獲に使う「くくりわな」を仕掛けてあり、本年度すでにイノシシが6頭捕獲されています。

さらに、公園等には台湾リス対策の捕獲器が設置されています。くくりわな設置場所には目印がありますので近寄らないでください。台湾リスのワナは近寄らないのと同時に、中にリスが入っていたら感染症のリスクがあるため絶対にさわらないでください。



台湾リス

主な被害
植林したスギやヒノキの樹皮を食害したり、農園の果樹や農作物を食害したりする。



捕獲器イメージ

※さわらないでください。

東逗子駅開業70周年

硬貨式の公衆電話が登場した昭和27年(1952年)4月1日に開業した東逗子駅は、令和4年(2022年)4月1日開業70周年を迎えます。

横須賀線は明治22年(1889年)6月16日に開業、運転を開始しました。当時はまだ単線で、大船～横須賀間の停車場は鎌倉と逗子だけでした。もちろん**東逗子駅**はまだありません。

そんな中「沼間に駅を！」と地元の方々が立ち上がり、寄付を集め、駅の用地と駅舎建設費を提供するかたちで東逗子駅ができました。(※計画時「沼間駅」と名付けられていましたが、国鉄との交渉の末、「東逗子駅」となった。)横須賀線が開業してから、実に63年後のお話です。

今回、東逗子地元商店会などでは、令和4年度を「**東逗子駅開業70周年**」と位置づけ、お祝いのムードを一年間展開していきます。



開業当時の駅舎



現在の東逗子駅



開業当時の横須賀線

当会の定例会議

■代表者会議 (沼間コミュニティセンター)

第4土曜日 15:00~17:00

■役員会 (逗子桜山ハイツ集会室)

第3金曜日 19:00~21:00



発行責任者 会長 曾志 光子

事務局

沼間コミュニティセンター内

逗子市沼間 3-16-32

電話・FAX 046-872-3277